



# 足立区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『区制90周年記念文化遺産調査特別展 「琳派の花園 あだち」』</p> <p>江戸時代後期、足立の地で琳派が花開いたことをご存じでしょうか。それは、江戸琳派の祖ともいわれる酒井抱一が千住にゆかりの人物だったことに端を発します。鈴木其一門下の絵師である村越其栄、向栄親子が幕末から明治にかけて千住に居を構えて活動したことで、さらに多くの作品が生まれ、豊かな文化が育まれてきました。</p> <p>足立区制90周年にあたる令和4年(2022年)、平成22年(2010年)よりスタートした足立区文化遺産調査の成果の中から、千住・足立の琳派作品にスポットを当てて紹介します。</p>	1,200円
	<p>『令和3年度文化遺産調査特別展 「谷文晁の末裔」』</p> <p>江戸時代後期、足立の文人活動の中心的な参加者となった、関東画壇の代表格の絵師「谷文晁」。</p> <p>文晁の孫としてその系譜を継いだ二世谷文一に注目し、二世文一が仕えた宮津藩(京都府宮津市)や深い交流を結んだ足立の地をはじめ、各地に残る資料から未だ謎の多いその経歴・活動に迫っていきます。</p> <p>さらに、二世文一と同時代を生きた文晁一門「谷派」の絵師たちの活動を紹介します。</p>	1,200円
	<p>『令和2年度文化遺産調査特別展 「名家のかがやき」』</p> <p>江戸から明治にかけて、足立では美術と文化を愉しむ名家が誕生します。</p> <p>日本最初の和独辞書を発行した日比谷健次郎家、幕府御用絵師狩野派の門人を生んだ石出掃部介家は、ともに狩野派の美術品や文化遺産を今日に伝えました。</p> <p>そうした美術品や教養文化に満ちあふれた逸品を紹介します。</p>	700円

	<h2>ビビビ美アダチ</h2> <p>ビビビ美アダチは足立区公式X（旧Twitter）に連載した4コマ漫画を加筆・再編集したものです。足立区の文化遺産調査では、これまでの歴史・民俗調査で得た情報の上に新たな情報をひもとき、豊かな足立の美術文化を明らかにしてきました。「ビビビ美アダチ」では、文化遺産調査の成果をわかりやすく紹介しています。</p>	<p>900円</p>
	<h2>足立区基本計画[改訂版]（令和3～6年度）</h2> <p>「足立区基本計画」はその名の通り、当区のあらゆる分野別計画のトップに位置する要の計画です。今回の改定にあたっては、改めて施策を一つひとつ見直し、その実現に向かっての筋道をつける目的で、それぞれの「成果指標」に対する「活動指標」を設定しました。これによって、「成果指標」に向かう行程がくっきりと浮かび上がり、おのずと区政の進行方向がキャッチできる計画となっています。</p>	<p>800円</p>

# 荒川区販売図書一覧

画 像	書 名 ・ 内 容 紹 介	価 格 (税 込)
	<p>『皆川号外コレクション展』</p> <p>旧蔵者の故皆川重男氏が約65年にわたり収集した、号外を中心とするコレクションの記録です。荒川区教育委員会に寄贈された約2万点の中から選りすぐりの号外を紹介しています。</p>	160円
	<p>『荒川区基本計画 (平成29年度から平成38年度まで)』</p> <p>荒川区では、平成19年3月に荒川区基本構想を策定し、概ね20年後に目指すべき将来像として「幸福実感都市あらかわ」を掲げるとともに、分野別に6つの都市像を示しました。</p> <p>これまでの10年間で幸せを実感できるまちを実現できるよう、区民の皆様が真に求めているものを常に考え、そのニーズに真摯に応えるべく、防災や治安対策、子育て・教育、福祉など多岐にわたる施策を展開してまいりました。</p> <p>その結果、「治安が良く安心して住める街」、「子育てや共働きしやすい街」などの御評価を頂き、区の人口は約21万3千人と、10年前と比べ約2万人も増えております。</p> <p>この度改定した「荒川区基本計画」は、平成29年度からの10年間を計画期間とし、中長期的な視点を持って、区と区民の皆様が共に一つの方向に進んでいくための道標となるものです。</p>	850円


# 板橋区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『いたばしの田遊び (文化財シリーズ第94集)』</p> <p>国の重要無形民俗文化財に指定されている「板橋の田遊び」は、旧正月にその年の五穀豊穡と子孫繁栄を祈願し神に奉納する行事です。板橋区の徳丸北野神社と赤塚諏訪神社に奉納される神事について詳しくご紹介しています。</p>	290円
	<p>『いたばしの獅子舞と四ツ竹踊り (文化財シリーズ第95集)』</p> <p>板橋区には、農業を中心とする生活の一環として「三頭立ちの獅子舞」、「四ツ竹踊り」等の民俗芸能が現在まで継承されてきました。このハンドブックでは区指定無形民俗文化財である「徳丸北野神社獅子舞」「赤塚諏訪神社獅子舞」「徳丸四ツ竹踊り」「大門四ツ竹踊り」それぞれの特色についてご紹介しています。</p>	290円
	<p>『いたばしの里神楽 (文化財シリーズ第99集)』</p> <p>区指定無形民俗文化財の「里神楽」について、その起源から、板橋に広まった様子などを、さまざまな資料をもとに解説しています。また、「里神楽」の保持団体に認定されている「成増里神楽保存会」・「相模流萩原正義社中」が伝承している演目の解説書にもなっています。</p>	290円
	<p>『旧東京第二陸軍造兵廠火薬研究所 近代化遺産 群調査報告書(文化財シリーズ第96集)』</p> <p>板橋区加賀には、終戦時まで陸軍板橋火薬製造所と火薬研究所があり、現存する遺構は国の史跡に指定されています。本書は近代史や建築史、産業史、火薬学など、さまざまな分野から陸軍板橋火薬製造所・研究所に迫り、その全貌を明らかにしています。</p>	2,480円

	<p>『板橋宿の歴史と史料－宿場の町並と文化財－ (文化財シリーズ第98集)』</p> <p>板橋宿の様子を記した江戸時代の紀行文や随筆、また、区指定有形文化財「飯田侃家文書」の古文書を多数掲載して、江戸時代を中心とする板橋宿と区内中山道の姿を描き出すとともに、考察を加えた解説書です。</p>	<p>650円</p>
	<p>『水のゆくえ ～荒川の歴史～ (板橋区郷土資料館 特別展図録)』</p> <p>板橋区は埼玉県境に位置し、境界として荒川が流れています。区の歴史を紐解くと、荒川の流路の変遷や海進など環境の変化に合わせて生活を変えていました。化石資料に加え、考古・歴史資料から荒川に関連する歴史を紹介する図録です。</p>	<p>1,000円</p>
	<p>『板橋区用途地域図 (1万分の1)』</p> <p>本地図は、令和5年4月現在、都市整備部が発行しており、第一種低層住居専用地域、第一種・第二種中高層住居専用地域、近隣商業地域、準工業地域等を区分したものであります。用途地域制による主な建築用途制限を図表で示しています。</p>	<p>740円</p>
	<p>『板橋区都市計画図 (1万2千分の1)』</p> <p>本地図は、令和4年12月現在、都市整備部が発行しており、都市計画法により道路及び公園で事業完了・事業中・未着手を色別に区分しています。また、市街地開発事業、地区計画、沿道地区計画等について色彩により区分したものです。</p>	<p>1,410円</p>
	<p>『板橋区基本計画2025』</p> <p>板橋区基本構想（平成27年10月13日議決）の実現に向けて、平成28年度から10年間、区政を総合的・計画的に推進していく方向性と目標を示した施策体系である「板橋区基本計画2025」を策定しました。</p>	<p>1,360円</p>
	<p>『いたばしNO.1実現プラン2025』</p> <p>板橋区基本構想で掲げる将来像「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」の実現に向け、板橋区基本計画2025に基づく施策を着実に推進していく短期的なアクションプログラムとして、いたばしNo.1実現プラン2025を策定しました。</p>	<p>1,480円</p>

# 江戸川区販売図書一覧

画 像	書名・内容紹介	価 格 (税込)
	<p>『江戸川の治水のあゆみ』</p> <p>江戸川は、この地に住んだ人びとに大きな影響を与えてきました。洪水もありました。農業用水や飲料水にも利用されてきました。そして、大切な物資輸送路でもあったのです。この小冊子では、そうした江戸川と人びととの関わりを、「治水のあゆみ」という視点にしぼって眺めてみたいと思います。</p>	210円
	<p>『地名のはなし』</p> <p>この小冊子では、地名と人間のかかわりを中心に、さまざまなエピソードや風物をも交えながら、江戸川区の地名にまつわる話をご紹介します。区内の地名のごく一部をとりあげるにすぎませんが、地名への理解を深める手掛かりとなれば幸いです。</p>	210円
	<p>『江戸時代の村とくらし(2)』</p> <p>この小冊子では、江戸川区の地域特性を語る上で欠かせない街道と水運を取り上げています。その他利根川の東遷事業とその後の水運に関すること、当時の旅の主要な目的であった寺社参詣と庶民の信仰についても取り上げて、江戸時代の江戸川区の交通の様子を描いています</p>	210円
	<p>『江戸川区の文化財(10) 1994年版』</p> <p>1980年以降に指定、登録されてきた江戸川区の文化財について、これまで紹介してきた冊子を取りまとめて、指定等の解除されたものを除くすべてを1冊で紹介する冊子。これまで紹介されたもののほか、1994年に新たに指定されたものも併せて紹介しています。</p>	320円

	<p>『江戸川区の文化財（12）2010年版』</p> <p>1998年度から2007年度までに指定、登録された文化財を紹介している。この冊子では以前のものに比べカラー写真を大幅に増やし、紹介記事にも写真を多用してわかりやすく紹介しています。</p>	520円
	<p>『江戸川区の史跡と名所』</p> <p>1969年度に初版を発行してから版を重ねて15版目になります。15版目に合わせて全体の編集を見直し、新版として発行しました。区内の文化財にとどまらず、名所や見どころなども加えています。地域別に紹介されているため、街歩きガイドとして最適です。巻末の地域別の地図も便利。</p>	520円
	<p>『江戸川区の仏像・仏画』</p> <p>1993年度から2001年度までに調査を行った、江戸川区内の寺院に所蔵される仏教美術（仏像・仏画）の調査報告書第1弾。区内の50カ寺を調査し、古代、中世にさかのぼる作例ほか近世の作品が多くみられ、都内でも有数の文化の層の厚さをそこに見ることができる。</p>	3,150円
	<p>『江戸川区の仏像・仏画 2』</p> <p>「江戸川区の仏像・仏画」以後、新たに25カ寺で調査を行った。江戸川区内の寺院に所蔵される仏教美術（仏像・仏画）の調査報告書第2弾であり、江戸川区の仏教美術調査の集大成である。</p>	3,150円
	<p>『江戸川区政50年史 理想のまちづくり半世紀の航跡』</p> <p>この区政史は、区民の皆さんと区がともに歩んできた50年間にわたる江戸川区発展の足跡を取りまとめ、この間のまちづくりの経緯や、様々な人々の努力が詳細に記述されています。</p>	3,090円

# 大田区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『大田区都市計画マスタープラン』</p> <p>本書は、平成11年に策定した「大田区都市計画マスタープラン」を羽田空港の再拡張・国際化、少子高齢化、工場数の減少などの社会経済状況の変化に対応するため、改訂したものです（平成23年3月改定）。</p>	1,300円
	<p>『大田区景観計画』</p> <p>本書は、「大田区都市計画マスタープラン」で示された景観まちづくりの方針等を踏まえ、大田区の地域特殊性を反映したきめ細かい良好な景観を形成することを目的に策定された計画をまとめたものです。</p>	1,500円
	<p>『大田区地域地区図』</p> <p>本地図は令和3年3月現在の地域地区を1/12,000の地図上に表したものです。</p>	800円
	<p>『大田区都市計画施設図』</p> <p>本地図は令和6年3月現在の都市計画施設、地区計画等を1/12,000の地図上に表したものです。</p>	800円
	<p>『工場まちの探検ガイド』</p> <p>機械・電気・精密機器などの製造で国内有数の技術の集積する工場まち、大田区の歴史とくらしを紹介します。</p>	300円



	<p>『雪ヶ谷貝塚』</p> <p>明治時代中頃から考古学の愛好家にも知られる雪ヶ谷貝塚を通して、縄文時代前期の文化と環境をさぐります。</p>	<p>600円</p>
	<p>『横穴墓のなぞ』</p> <p>6世紀後半～8世紀前半に、台地や丘陵の斜面に横穴を掘ってつくられた大田区周辺の横穴墓のなぞに迫ります。</p>	<p>500円</p>
	<p>『大田の史跡めぐり』</p> <p>区内を12地区にわけて、指定・登録文化財を中心に史跡めぐりのモデルコースを紹介しています。</p>	<p>350円</p>
	<p>『大田区古墳ガイドブック』</p> <p>亀甲山古墳や多摩川台古墳群など、4世紀～7世紀にかけての多摩川流域の古墳をご案内します。</p>	<p>200円</p>
	<p>『博物館ノート 復刻版』</p> <p>郷土博物館の展示・収蔵資料や大田区を中心とする様々なテーマ150をとりあげて、わかりやすく解説しています。</p>	<p>1,600円</p>

# 葛飾区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『葛飾区子ども・若者計画』</p> <p>子ども・若者世代の置かれた現状を把握し、個別の状況に応じたきめ細やかな切れ目のない支援を地域全体で連携して推進することを目的に策定した計画です。</p>	250円
	<p>『かつしか教育プラン2019～2023[葛飾区教育振興基本計画]』</p> <p>本計画は、「みんなで育ちあう『かつしか』で、自信と誇りあふれる人づくりを進めます」をコンセプトに、前計画から継承した4つの基本方針を定めるとともに、実施している取組の成果を踏まえるほか新たな課題にも対応しています。</p>	190円
	<p>『葛飾区史』</p> <p>葛飾区は、東京都東部に位置し多くの河川が流れ、古くから地理環境に大きな影響を受けて発展してきました。本書は、区民の皆さんからの提供写真を含む多くの写真や浮世絵、古文書など約800点を通して、古代から現代までの葛飾区の移り変わりが紹介されています。</p>	2,100円
	<p>『特別展図録「怪力伝説」』</p> <p>本書は、平成11年度に開催した特別展「怪力伝説」の図録です。神社の余興等として行われていた東京近郊の草相撲と力持ちの世界、さらには、葛飾区内にただ一つあった大相撲の立田川部屋が紹介されています。</p>	1,000円

	<p>『肥やしの子カラ』</p> <p>本書は、平成16年度に開催した特別展「肥やしの子カラ」の図録です。都市(江戸の町)から排出される人糞尿を下肥として活用してきた農村の歴史(江戸時代)から昭和に入ってから肥やしの近代化、さらには、未来の肥やし利用までを紹介しています。</p>	<p>600円</p>
	<p>『親鸞と青砥藤綱』</p> <p>本書は、平成17年度に開催した特別展「親鸞と青砥藤綱」の図録です。葛飾区には、親鸞をはじめ、青砥藤綱、葛西氏など人物伝説や立石様にまつわる伝承など、歴史伝説が数多く語り継がれています。そこで、視点を変えて、伝説の実像や背景について追求し、歴史的な位置づけをしたものです。</p>	<p>800円</p>
	<p>『葛飾区の民俗 I X 「葛飾区の民俗 総集編」』</p> <p>葛飾区では、昭和60年から継続して区内の民俗を調査、記録してきました。さらに、平成12年からはこれらの成果をまとめた「葛飾区の民俗シリーズ」を刊行しました。本書はその最後の総まとめです。</p>	<p>300円</p>

# 北区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『TOKYO北区のKITAみち～目で見える北区の歴史～』</p> <p>北区の歴史について、たくさんの写真や図版でわかりやすく紹介した、カラフルで見ているだけでも楽しい北区の地域史の決定版です。地図付きなので、歴史散歩の手引きにもご利用いただけます。ぜひご覧ください。</p>	500円
	<p>『北区基本計画2020』</p> <p>北区基本構想の実現を目的とする区政の基本方針で、令和2年度から令和11年度までを計画期間とした長期総合計画です。令和2年度以降の10年間に区が取り組むべき主要な施策の方向性を示し、個別目標ごとに施策を体系化しています。</p>	2,250円
	<p>『北区勢要覧』</p> <p>北区外の方へのPRを目的として作成した冊子で、「北区風景」・「北区グラフィティ」・「北区の魅力」・「マイタウン」・「区民とともに ふるさと北区」のテーマごとに、豊富な写真とともに北区の概要や魅力を紹介しています。英文も併記しています。</p>	300円
	<p>『北区のたからばこー北区文化財ガイドブックー』</p> <p>北区にはさまざまな文化財が残されています。それらは遺跡や、土器などの遺物であったり、社寺や仏像、古文書であったりと多岐にわたっています。また、祭礼、教育、産業、自治など人々の営みの中で伝えられてきたものも文化財といえます。</p> <p>これらの文化財は、過去の歴史を伝えるだけでなく、私たちに新たな北区の魅力を発見させてくれる宝物です。</p> <p>この文化財ガイドブックでは、区内の国・都・区指定文化財や北区台帳掲載文化財を中心に、北区の歴史や文化に触れる一助になれば幸いです。(平成28年3月発行)</p>	500円

	<p>『北区植物ガイドブック』</p> <p>身近な植物の見分け方などを通して、環境に対する関心をたかめることを目的として発行しました。植物の調査から企画、編集、デザインまで全てが区民参加のワークショップ形式によるものです。</p> <p>写真のサイズや文字を大きくし、漢字にはふりがなを付けるなど、子どもからお年よりにもわかり易く工夫し、公園や道ばたでよく見かける代表的な植物約400種類を紹介しています。</p>	<p>670円</p>
	<p>『北区飛鳥山博物館 常設展示案内』</p> <p>常設展示は「大地・水・人」を基本コンセプトに14のテーマ展示で構成されており、これらを貴重な写真とイラストで解説した図録です。郷土北区の3万年に及ぶ歴史が総覧できます。</p>	<p>700円</p>
	<p>『東京人増刊号「王子飛鳥山を愛した渋沢栄一」』</p> <p>北区と雑誌『東京人』（都市出版㈱）がコラボレーションし、「渋沢栄一と北区」を主題とした一冊を刊行しました。飛鳥山の邸宅跡や区内の各所に今なお残る渋沢栄一の足跡を取り上げ、各界の著名人・有識者による記事で構成されています。</p>	<p>740円</p>
	<p>『みんなでつくる北区景観百選2019ガイドブック』</p> <p>北区内外の皆様の投票をもとに認定した「みんなでつくる北区景観百選2019」のガイドブックを刊行しました。北区の素晴らしい景観をはじめ、さまざまな視点からの景観を特集したページなど、北区の魅力がたくさん詰まっています。ぜひご覧ください。</p>	<p>500円</p>
	<p>『北区こぼれ話1』</p> <p>北区立中央図書館・広報誌『北区の部屋だより』にて連載中の、北区に関する雑学や豆知識を紹介する「北区こぼれ話」第1回から第50回までを一冊の本にまとめました。この本では連載版には入っていない新たなエピソードも加筆、再編集しており、さらに充実した内容となっています。</p>	<p>200円</p>
	<p>『北区こぼれ話2』</p> <p>『北区こぼれ話1』に続く第二弾で、広報誌『北区の部屋だより』にて連載中の「北区こぼれ話」より、第51回から第100回までを一冊の本としてまとめました。前作同様、連載時の内容に新エピソード等を加筆、再編集しています。</p>	<p>200円</p>

# 江東区販売図書一覧

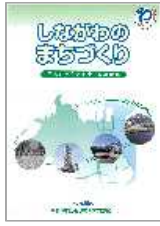
画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『江東区のおゆみ』</p> <p>江戸の昔から平成まで、江東区の歴史をわかりやすく紹介した小冊子です。江東区の埋立ての変遷、江戸時代の産業、木場の歴史、江東区の工業、江東区とごみ問題、江東区の集合住宅、自治体・江東区のおゆみと、区の歴史を簡潔にまとめた年表から成っています。</p>	100円
	<p>『史跡をたずねて』</p> <p>区内を8つの地域に分け、史跡・文化財を紹介した冊子です。区報で連載した158話を一冊にまとめました。最新版では、最近になり区文化財に指定・登録されたものなど13話を追加し、巻末に施設ガイドを設けました。区内の史跡・文化財めぐりにご活用ください。</p>	500円
	<p>『江東のいまむかし ～昭和の思い出、平成の風景～』</p> <p>今は消えてしまった建物や掘割、都電などの町並が写る昭和30～40年代を中心とした古写真集です。地域ごとに現在の風景写真と対照させて掲載しています。江東区のなつかしい風景に思いを馳せてみてください。</p>	1,000円
	<p>『江東区の文化財1 深川北部』</p> <p>横十間川以西の小名木周辺（白河を除く）に所在する文化財を取録しました。小名木川を中心に発展した町や村の歴史と文化がしのばれる文化財が残っています。「江東区の文化財」シリーズは、全8冊で、このほかに「深川寺町界限」「永代橋界限」「門前仲町界限」「木場」「亀戸Ⅰ」「亀戸Ⅱ・大島」「砂町」を刊行しています。</p>	500円

	<p>『水彩都市・江東 観光絵はがき』</p> <p>東京ゲートブリッジや旧中川・川の駅など水彩都市江東の魅力が詰まった観光絵はがきです。水と緑あふれる江東区の魅力が詰まった絵はがきは折々のお便りにご利用いただくのはもちろん、プレゼントとしても最適です。(8枚組)</p>	<p>200円</p>
	<p>『江東区エコかるた』</p> <p>区民の皆さんのエコなアイデアや思いをまとめ、地域にちなんだエコな知識満載のかるたです。</p>	<p>600円</p>
	<p>『江東区長期計画 令和2年度▶令和11年度』</p> <p>江東区のまちづくりと区政運営の具体的指針となる総合計画です。長期計画の計画期間は、令和2年度から令和11年度までの10か年で、そのうち、令和2年度から令和6年度までを前期、令和7年度から令和11年度までを後期としています。</p>	<p>1,600円</p>
	<p>『こうとう文化財まっぷ』</p> <p>区内の歴史や文化財を案内するガイドマップを改訂しました。情報更新だけではなく、川と橋、埋め立ての歴史、描かれた名所、歌舞伎と文化財、町名の変遷などのテーマ開設も充実。錦絵や写真、絵図なども豊富に掲載しており、江東区の文化財めぐりに欠かせない1冊です。</p>	<p>500円</p>

# 品川区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『しながわ物語』</p> <p>品川区政50周年を記念して、戦後の復興期から現在（平成9年）まで移り変わるまちの表情と、そこに蘇ってくる区民の生活史を記録しました。</p>	500円
	<p>『まちの鼓動 しながわ写真集』</p> <p>まちは生きています。日々様々な表情を見せ、息づいています。21世紀を迎えた品川を見つめ、その「賑わい・やすらぎ・変貌」を「まちの鼓動」として記録しました。</p>	500円
	<p>『品川区史2014』</p> <p>約40年ぶりに刊行した区史で、写真・図版約1,000点を掲載。品川の区史はもちろん、区内各地域のあゆみと特色、そこに生きる人たちの姿をまとめ、「見て、読んで、調べて」楽しめる内容となっています。</p> <p>DVD 2枚付（映像ディスク ・ データディスク）</p>	4,500円
	<p>『品川区長期基本計画』</p> <p>品川区基本構想を実現するため、区政の課題を明らかにするとともに、将来に向けた区の方針と、取り組みの方向性等を体系的に示しています。</p>	1,000円
	<p>『品川区総合実施計画』</p> <p>品川区基本構想と品川区長期基本計画が示す基本方針や政策に沿って、具体的な事務事業を年次計画により示しています。</p>	500円





## 『しながわのまちづくり』

各拠点の整備やそれぞれの地域における安全な市街地形成の取組みを地区別に取りまとめるとともに、地区計画の現況や都市計画道路事業などを紹介し、品川区のまちづくりの状況が分かりやすく把握できる内容になっています。

300円

# 渋谷区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『渋谷の記憶』</p> <p>渋谷の今昔を記録した写真集です。舗装されていない甲州街道、百貨店を往復するロープウェイ。恋文横丁の路地や、武蔵野の面影を残す原っぱなど貴重な写真が数多く収集されています。</p> <p>多くの渋谷区民の要望により、現在、全4集の刊行となっています。</p>	各1,000円
	<p>『渋谷区都市計画図・日影規制図』</p> <p>渋谷区の都市計画図・日影規制図です。 平成30年10月3日施行のものです。</p>	900円
	<p>『渋谷駅中心地区基盤整備方針』</p> <p>渋谷駅周辺のまちづくりの方向性を、住民・企業及び行政が協働で作成しました。多様な可能性を持った国際的な観光文化都市「渋谷」を実現する道標となる一冊です。</p>	150円

# 新宿区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『新宿歴史博物館常設展示図録』</p> <p>約3万年に及ぶ歴史の流れを時代順に追いながらも、近代の文学者や「盛り場・新宿」など新宿区にとって画期的な意味を持っている時代・事象を取り上げています。</p>	1,000円
	<p>『新宿風景—明治・大正・昭和の記憶』</p> <p>新宿歴史博物館の開館20周年を記念し、新宿の変遷や文化、歴史の記憶を共感できる写真集にまとめたものです。明治・大正・昭和の新宿のまちのうつりかわり、そこに住み、暮らしてきた人々の姿を、未発表の新宿区広報課写真を中心に紹介しています。</p>	1,000円
	<p>『新宿風景2—一枚の写真 そして未来へ』</p> <p>写真集『新宿風景—明治・大正・昭和の記憶—』の続編、『新宿風景2—一枚の写真 そして未来へ』を刊行しました。明治・大正・昭和と大きく変貌を遂げ、今なお変わり続ける新宿の貴重な写真をお楽しみください。</p>	1,000円
	<p>『江戸切絵図』</p> <p>新宿区域の江戸時代後期(1850~60年代)の切絵図7枚を1枚に纏めた、新宿歴史博物館オリジナルの地図。牛込・四ツ谷・淀橋地域の当時の様子が一目瞭然です。</p>	1,000円

	<p>『江戸名所図会でたどる新宿名所めぐり』</p> <p>「江戸名所図会」とは、江戸後期に出版された観光ガイド。そこには区内の名所が約80項目にわたって挿絵入りで紹介されています。本書には当時の挿絵と現在の写真が併載されており、地域の変貌と隠れた歴史の探求が楽しめるよう工夫されています。</p>	<p>900円</p>
	<p>『新宿ゆかりの文学者』</p> <p>明治・大正・昭和を通じた、区内在住の文学者の交流をまとめた一冊。作家は居住地域ごとに分類されています。</p>	<p>1,500円</p>
	<p>『新宿の文化財 新宿文化財ガイド2013』</p> <p>新宿区指定・登録文化財147件（平成25年3月現在）および新宿区内の国指定文化財、史跡、国指定重要無形文化財保持者、東京都指定文化財等を豊富な写真とともに紹介しています。</p>	<p>800円</p>
	<p>『特急電車と沿線風景』</p> <p>本書は、平成13年度特別展「特急電車と沿線風景～小田急・京王・西武のあゆみと地域の変遷」の展示図録です。私鉄各社の沿線開発の流れの中で乗客誘致の切り札として運転され、多くの人々に親しまれてきた特急電車の歴史と特色、特急電車が結んだ観光地の姿について、新宿を起点とする小田急電鉄・京王電鉄・西武鉄道を中心に紹介していきます。</p>	<p>1,000円</p>
	<p>『巷の目撃者』</p> <p>今日、観光地の記念品などとして作られている絵はがき。かつては全く違った役割を持っていました。情報伝達的手段が少なかった時代、絵はがきは戦争や災害・イベントなど様々な出来事を絵や写真でいち早く伝える手段として、今で言う写真週刊誌のような役割を果たしていたのです。</p> <p>本書は、明治期～昭和初期にかけて発行された約1000点の絵はがきから、活気に溢れた多様で猥雑なその世界を紹介しています。（平成11年度特別展「巷の目撃者～絵はがきがとらえた明治・大正・昭和～」）</p>	<p>1,500円</p>



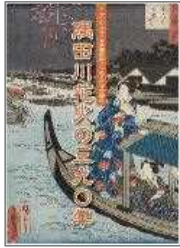
# 杉並区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『すぎ百科展』</p> <p>本書は、杉並区立郷土博物館が杉並区制60周年を記念して開催した「すぎ百科展」の図録です。区名の原点である「杉」をテーマに、杉並ゆかりの文士が小説中に描いた杉、江戸の建築用材をまかなう杉丸太でも特に著名な高井戸の杉丸太や、杉並区立の学校で杉を用いている校章とその由来などを解説しています。</p>	1,300円
	<p>『杉並文学館 ー井伏鱒二と阿佐ヶ谷文士ー』</p> <p>本書は、杉並区立郷土博物館で春と秋の年2回開催している、準常設展「杉並文学館」の図録です。昭和期に阿佐ヶ谷、荻窪辺りに住んでいた井伏鱒二ら文士たちを中心に、杉並ゆかりの文学者を紹介しています。本書を読んで資料に興味を持たれた方は是非足をお運びください。</p>	700円
	<p>『江戸のごみ東京のごみ』</p> <p>江戸時代にすでに見事な資源循環型の社会が形成されていたことから始まり、東京市の明治から昭和に至る塵芥量の推移、時代別のごみ質・収集量と方法の変化、処分方法等について写真を用い分かりやすく解説しています。そして、あの杉並ごみ戦争の記録を掲げている。国会図書館ほか多くの文献から貴重な資料を生かした価値ある記録であります。</p>	400円
	<p>『井伏鱒二と「荻窪風土記」の世界』</p> <p>生涯の大半を過ごした荻窪の地を舞台に、氏と数々の文士や趣味人、釣人、多くの作品の主題となった市井の人々とのエピソードを綴った「荻窪風土記」は井伏文学の源といえましょう。特筆すべきは、太宰治との初対面のときの様子です。そして、太宰の写真は印象に残ります。</p>	1,000円

	<p>『大相撲杉並場所展』</p> <p>本書は、杉並区立郷土博物館が平成3年度に開催した「大相撲杉並場所展」の図録です。当時杉並にあった相撲部屋所属力士や杉並出身力士の幕内成績や得意手を一覧にして解説したり、杉並の少年相撲や大学相撲の紹介があったりと、相撲マニアも満足できる一冊となっています。</p>	<p>1,300円</p>
	<p>『狂言装束と杉並能楽堂』</p> <p>狂言は明治維新まで能とともに「猿楽」とよばれていた。という狂言の歴史の解説とともに狂言装束と狂言面の写真を載せている。「黒地馬具模様肩衣」の衣装と「黒式刷」の狂言面の写真は必見と思います。本書は、郷土博物館の企画展の図録です。</p>	<p>400円</p>
	<p>『はばたくプリズム 蝶の自然史展』</p> <p>本書は、杉並区立郷土博物館が平成8年度に開催した「はばたくプリズム 蝶の自然史展」の図録です。日本で見られる蝶の生態写真やスケッチを合計32枚の絵葉書にしてまとめました。標本と違ういきいきとした姿や蝶に関連したデザインを見ることだけでなく、実際に絵葉書として活用できるものとなっています。</p>	<p>600円</p>
	<p>『霊宝開帳と妙法寺の文化財展』</p> <p>「開帳は、寺社が日頃、厨子の中に安置するなどして秘蔵している神仏や霊宝を、一定の期間公開し、広く人々に拝観させる」とあります。葛飾北斎筆「魚師図」（白黒写真）や中国南宋時代の天目茶碗、二代広重による堀の内妙法寺等のカラー写真は見ごたえがあります。</p>	<p>1,000円</p>
	<p>『杉並区総合計画 杉並区実行計画（第1次）』</p> <p>本書は、時代や社会経済状況の変化を踏まえ、今後概ね10年程度を見据えた区が目指すまちの姿を「みどり豊かな 住まいのみやこ」として策定した新たな基本構想のスタートに合わせ、この構想の実現に向けた具体的な道筋として策定した新たな総合計画・実行計画等の6計画をまとめたものです。</p>	<p>2,000円</p>
	<p>『東京都市計画図(杉並区地域地区図)』</p> <p>本地図は令和6年3月現在の用途地域や都市計画施設などを1/10,000の地形図上に表したものです。発行は杉並区都市整備部市街地整備課です。</p>	<p>500円</p>

# 墨田区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『料理レシピ&amp;食育ブック』</p> <p>墨田区内保育園で人気のおかずやおやつなどを中心に約40品の作り方や、子どものお手伝いポイント等を写真とイラストでご紹介しています。食卓の演出や食育のヒントを学びながら、親子で楽しく料理をしてみませんか。調理師と栄養士と保育士が考案した、心と体があたたまる愛情レシピが満載です。</p>	1,000円
	<p>『すみだオレンジかるた』</p> <p>「すみだオレンジかるた」は、認知症への理解や支援を広げるために、①気づきのポイント ②支援のコツ ③介護者をサポートする区の実践などについて、遊びながら楽しく学べるものです。</p>	1,000円
	<p>『将軍が撮った明治のすみだ【小梅水戸邸物語】』</p> <p>平成10年度にすみだ郷土文化資料館で開催した特別展「将軍が撮った明治のすみだ 小梅水戸邸物語」の図録です。墨田区向島にあった水戸徳川邸下屋敷・小梅邸（現隅田公園）の明治以降の姿や、小梅邸をめぐる人々、特に徳川最後の将軍・第15代慶喜たちが撮影した当時の様子などがまとめてあります。</p>	800円
	<p>『墨田区の民間伝承・民間信仰』</p> <p>本地図は令和5年3月現在の都市計画施設、地区計画等を1/12,000の地図上に表したものです。</p>	800円
	<p>『隅田川神社の文化財【矢掛弓雄の世界I】』</p> <p>隅田川神社（墨田区堤通2-17-1）は、水神と船霊を祀る神社です。隅田川神社所蔵資料は、大部分が明治期以降のもので、その時期の隅田川神社と周辺地域との関係を考えるうえで重要なものです。この本では、この神社に伝来した文化財を紹介します。</p>	1,000円

	<p>『芥川龍之介-こころのふるさと本所両国-』</p> <p>芥川龍之介が墨田区本所両国で過ごした約18年間に焦点をあて、当時のすみだの風景とそこで育まれた龍之介の半生を、錦絵や古写真、学生時代に書いた回覧雑誌や日記などとともに紹介しています。</p>	<p>600円</p>
	<p>『勝海舟-両国生まれの幕臣-』</p> <p>勝海舟が墨田区両国4丁目で生誕して190年にあたる平成25年、すみだゆかりの展示「生誕190年 勝海舟」展、「生誕190年 勝海舟とすみだ」展を開催し、区内外に残された貴重な関連資料を集め、勝海舟の生涯を紹介しました。本書はこの企画展をもとに構成しました。</p>	<p>400円</p>
	<p>『隅田川花火の三九〇年』</p> <p>江戸時代初期から隅田川で行われている花火の現代までの歴史の変遷に焦点をあてた、すみだ郷土文化資料館開館20周年記念特別展「隅田川花火の三九〇年」の展示図録です。</p>	<p>1,200円</p>



# 世田谷区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『世田谷 往古来今』</p> <p>世田谷区は、区制85周年を契機として、平成29年6月から新たな区史編さんに取り組んでおります。区史編さん事業に至るまで、さまざまな遺跡発掘や古文書調査などを進めてまいりました。本書ではその成果を踏まえ、区の歴史をわかりやすく紹介しています。平成29年10月発行。</p>	1,100円
	<p>『世田谷区ユニバーサルデザイン推進条例施設整備マニュアル（建築物編・道路編・資料編）』</p> <p>世田谷区では、すべての人が公共的施設を円滑に利用できるように、建築物をはじめ、道路、公園などの整備のための基準を定めています。本マニュアルは、これらの基準を具体的にわかりやすく解説したものです。設計者向けですが、ユニバーサルデザインによる整備方法のテキスト集としてもご活用いただけます。</p>	550円
	<p>『せたがやの文化財』</p> <p>世田谷区では昭和52年に世田谷区文化財保護条例を制定し、文化財の保護に取り組んできました。区内にある国・都及び区指定文化財を「寺院と歴史」、「世田谷の神社と芸能」などのテーマに分けて写真で紹介しています。平成21年3月発行。</p>	732円
	<p>『世田谷区基本計画（令和6年度～令和13年度）』</p> <p>世田谷区の最上位計画です。「住民自治の確立－参加と社会的包摂－」「環境と調和した地域社会の実現」「自治権の拡充と持続可能な自治体経営の推進」この3つの基本方針のもと、分野別の政策と、横断的に取り組む6つの重点政策を示しています。</p>	1,500円

	<p>『世田谷区都市計画図（地域地区・都市施設等）』</p> <p>区内の都市計画を表示した縮尺1万1千分の1の地図です。都市計画図1（用途地域などの地域地区）と都市計画図2（都市計画道路などの都市計画施設）のセットです。</p>	<p>1,045円</p>
	<p>『風景づくり計画 27年4月版』</p> <p>世田谷らしい風景づくりを総合的に推進していくための制度や考え方を示した計画です。区民の風景づくり活動の充実を図るとともに、届出制度の活用などにより事業者の風景づくりに対する理解・配慮を求めることで、地域特性に合ったきめ細やかな風景づくりを進めています。</p>	<p>880円</p>
	<p>『世田谷区都市整備方針（第一部・第二部）』</p> <p>都市計画法第18条の2に基づく、世田谷区の都市づくり・街づくりの基本方針です。区全体の都市づくりの基本方針を定めた第一部と、地域のまちの姿や地区の特性を踏まえた身近な街づくりの方針である第二部から構成されています。</p>	<p>1,870円</p>
	<p>『せたがや街並み図鑑』</p> <p>私たちの暮らしの中で身近なところにちりばめられた都市計画について、写真を中心に構成した新感覚のまち歩きガイドです。天気の良い日は、本書を片手に都市計画を見に街歩きなどはいかがでしょうか。</p>	<p>1,210円</p>
	<p>『世田谷の歴史と文化』</p> <p>約3万年数千年前の地層から、打製石斧・ナイフ形石器などが見つかっています（下山遺跡・瀬田遺跡）。これが世田谷における最も古い生活の痕跡です。以後、途切れることなく世田谷の地に人々が暮らし、歴史を刻み続けてきました。本書は先土器時代から現代に至るまでの世田谷の歴史と文化を、写真・図表をふんだんに使って、わかりやすく解説しています。</p>	<p>880円</p>
	<p>『ボロ市の歴史』</p> <p>年末年始の風物詩として広く一般に親しまれている「ボロ市」（世田谷区指定無形民俗文化財）の変遷の歴史を辿ります。「ボロ市」は、天正6年（1578年）に時の小田原城主・北条氏政が開いた「楽市」を起源とします。開設当初は、月に6回開かれる六斎市でしたが、時代とともに変化し、現在の形態（12月15・16日、1月15・16日の4日間開催）となりました。</p>	<p>157円</p>

# 台東区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『新版 史跡を訪ねて 第10刷』</p> <p>浅草寺・寛永寺といった有名どころだけでなく、台東区内の隠れた貴重な史跡や文化財も数多く取り上げてわかりやすく解説したものです。下町研究の決定版ともいえるべき一冊です。</p>	1,200円
	<p>『ビジュアル台東区史』</p> <p>古くから豊かな歴史と文化に育まれてきた台東区をビジュアル的に紹介しています。貴重な写真や図版が数多く掲載されていますので、古代の成り立ちから現代までの歴史や文化をわかりやすく楽しみながら知ることができます。</p>	2,000円
	<p>『絵と写真でたどる 台東の文化と観光』</p> <p>本書は台東区発足60周年記念誌として発行され、「台東の文化と観光」を主なテーマとしたものです。特に、明治以降のまちの文化やにぎわいの歴史を、豊富な絵と写真で紹介しています。</p>	1,500円
	<p>『台東区発足70周年記念誌 多彩な魅力 世界に輝くまち』</p> <p>台東区発足七十周年記念誌として発足された本書は、国立西洋美術館の世界文化遺産登録をはじめとする、これまでの区の軌跡を振り返るとともに、今後の進むべき方向や区にまつわる方々からのメッセージなどを盛り込んでいます。</p>	1,500円
	<p>『新装版 重ね地図で江戸を訪ねる 「上野・浅草・隅田川歴史散歩」』</p> <p>台東区内の名所旧跡などを掲載した現代地図に、復元した江戸時代の地図を透明フィルムで重ね、見くらべて楽しむことができる書籍です。新たに東京スカイツリーの開業を踏まえて、掲載範囲を墨田区押上付近まで拡大、さらにイラスト散策マップの追加など多くの工夫を凝らしました。区内史跡散策に必携の、また歴史や文化財の資料としても活用いただける、最適な一冊です。</p>	2,600円

# 中央区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『中央区区内散歩 第1集』</p> <p>長い歴史と伝統が受け継がれるまち「中央区」の名所・旧跡などを紹介するため、広報紙「区のおしらせ 中央」に連載した内容をまとめたものです。どうぞ「中央区区内散歩」を手に散歩をお楽しみください。</p> <p>【主な内容】 ●下町の一年 ●街並 など</p>	500円
	<p>『中央区区内散歩 第2集』</p> <p>【主な内容】 ●四季のこよみ ●江戸の面影 ●近代化へ向けて ●文化の足あと ●橋と賑い</p>	500円
	<p>『中央区区内散歩 第3集』</p> <p>【主な内容】 ●記念碑・文化財をめぐって ●文明開化裏ばなし ●学芸・文化のかおり ●街の面影 ●市民のくらし ●食生活にまつわる話</p>	500円
	<p>『中央区区内散歩 第4集』</p> <p>【主な内容】 ●江戸の町となりわい ●江戸文化のかがやき ●開化のあしどり(一) ●開化のあしどり(二) ●近代文芸の原風景 ●女性たちの活躍 ●街のうつろい</p>	500円
	<p>『中央区区内散歩 第5集』</p> <p>【主な内容】 ●江戸-近代への胎動 ●外国との出会い ●演劇の主役たち ●文芸の世界 ●街-薄れゆく記憶 ●記憶あらたに</p>	400円

	<p>『中央区区内散歩 第6集』</p> <p>【主な内容】 ●近代への胎動 ●開化の写真師たち ●日本橋が生んだ文学 ●海水館をめぐる人々－佃島・月島－ ●開化の洋裁師たち ●永井荷風と中央区 ●築地小劇場 ●銀座点描</p>	<p>400円</p>
	<p>『中央区区内散歩 第7集』</p> <p>【主な内容】 ●中央区俳人群像 ●自由人バロン・サツマ薩摩治郎八 ●ヨーロッパで逝った劇作家 郡虎彦 ●水に生きた人びと</p>	<p>600円</p>
	<p>『中央区区内散歩 第8集』</p> <p>【主な内容】 ●日本橋 ●夢二 永遠の女 笠井彦乃 ●隅田川の水練場 ●外国人が見た中央区 ●築地の三百五十年</p>	<p>700円</p>
	<p>『中央区区内散歩 第9集』</p> <p>【主な内容】 ●関東大震災●関東大震災後の銀座●昭和初期の銀座●戦時下の銀座●銀座点描</p>	<p>630円</p>
	<p>『絵画にみる時代の情景 ～絵師からのメッセージ～』</p> <p>江戸から昭和期の各時代に描かれた絵画作品の特別展図録です。作品ごとに歴史や鑑賞のポイント解説があり、異なる時代の情趣・人々の息づかい・自然の趣・季節感などが味わい深く感じ取れる内容です。</p>	<p>200円</p>

# 豊島区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『豊島区の街づくり 2023』</p> <p>豊島区の都市計画の足跡と現況を記し、様々な事業の概要と経緯をまとめたものです(令和5年10月発行)。</p>	2,000円
	<p>『豊島区未来戦略推進プラン 2023将来像編』</p> <p>子どもと女性にやさしいまちづくりなど、令和5年度に重点的に取り組む事業を紹介、また、区内を5地域に分け、それらの地域事業についても、地図を使って説明するなど豊島区の今後の方向性を示す冊子です。</p>	500円
	<p>『豊島区基本計画2022-2025』</p> <p>区の計画体系の最上位に位置する区政運営の基本的指針であり、各分野における計画を総合的に調整するものです。豊島区が目指す都市像と取り組むべき施策を体系的に示しています。</p>	1,000円
	<p>『豊島区都市づくりビジョン』</p> <p>「次世代が誇れる文化と魅力を備えた都市の創造」を基本理念とする、「都市計画に関する基本的な方針」。</p> <p>まちづくり目標の実現に向けた8つの戦略を掲げ、都市づくりの方針と、区内を12の地区に分けた地域別のまちづくり方針を示しています。</p>	1,300円
	<p>『トキワ荘のヒーローたち ~マンガにかけた青春~』</p> <p>昔、豊島区椎名町(現南長崎)にあったトキワ荘に、手塚治虫をはじめとする現代マンガの巨匠たちが住んでおりました。その巨匠たちが青春時代を過ごした場所は「伝説」として広く知られています。</p>	1,500円

	<p>『ぶらり雑司が谷 文学散歩』</p> <p>副都心線が開通して「雑司が谷」駅の誕生により刊行されたものです。雑司が谷は歴史のある土地で、風光明媚な所があり、また、江戸時代以降、多くの文人墨客が住んでいました。「散歩」に便利なようポケットに入れて持ち運べるようにコンパクトにできています。</p>	<p>500円</p>
	<p>『ぶらり中山道巣鴨 一歴史・文学散歩』</p> <p>巣鴨地区とその周辺の歴史文化を網羅し、染井霊園の案内図が付いています。散歩に便利な、ポケットに入る小型サイズです。この本を片手に、歴史ある中山道・巣鴨の地をめぐってみませんか。</p>	<p>600円</p>
	<p>『ぶらり長崎 一歴史・文学散歩』</p> <p>豊島区内の歴史・文学スポットをめぐり歩くガイドブックの3巻目。豊島区が形成される前、長崎町（村）と言われていた地域のぶらり歩きができるように、「椎名町駅」「目白駅」「池袋駅西口」「東長崎駅」から出発したパートで構成しています。</p>	<p>500円</p>
	<p>『歴史をたずねて 一豊島区の文化財一』</p> <p>区内を地域の特性に合わせて4分割し、地域ごとに江戸時代から現在までの歴史を紹介しています。区内にある文化財の他に、道しるべ、乳牛の牧場跡、埋蔵文化財の発掘等の歴史的情報も載せてあります。小冊子を片手に、豊島区の歴史をたずねてみましょう。</p>	<p>100円</p>

# 練馬区販売図書一覧


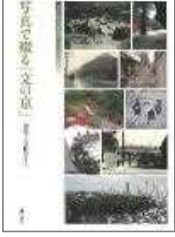
画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『常設展示ガイド』</p> <p>石神井公園ふるさと文化館の常設展示の内容を解説文と写真でわかりやすく紹介しています。</p>	310円
	<p>『御(お)・鷹(たか)・場(ば) - 徳川将軍家の鷹狩 -』</p> <p>練馬周辺での将軍の鷹狩に関する記録や鷹場の村の生活を示す古文書などの関連資料を掲載しています(平成22年度特別展図録)。</p>	600円
	<p>『ふるさと練馬探訪』</p> <p>練馬区の文化財など見どころを24コースに分けて紹介する、練馬探訪のガイドブックです。</p>	500円
	<p>『江戸時代の百科事始 - 本草学者 小野蘭山の世界 -』</p> <p>江戸時代に活躍した本草学者小野蘭山の関連資料を中心に、本草学に関する資料153点を掲載しています。日本の本草学のあゆみが分かりやすく構成されています(平成23年度第1回特別展図録)。</p>	700円
	<p>『新版 練馬大根』</p> <p>タクアン漬けで有名な練馬大根。その誕生は一説には徳川五代将軍綱吉が脚気の療養のため栽培を命じたともいわれています。そんな誕生から平成にいたるまでのダイコンにまつわる色々ななしを網羅した一冊です。</p>	1,100円



	<p>『石神井城跡発掘調査の記録』</p> <p>鎌倉時代末期、豊島氏の居城として築かれた石神井城の城跡を平成10年度から平成15年度までの6次にわたり、構造解明のため区民ボランティアとともに発掘調査を行ったときの記録です。</p>	50円
	<p>『一夢の工場—ねりま・映画・ものがたり』</p> <p>練馬区内で育まれてきた「映像作品」や「ひと」に焦点をあて、区と映画やアニメーションとのかかわりをまとめたものです。映像文化にかかわる練馬区の特徴や魅力を知ることができる内容となっています。</p>	1,300円
	<p>『練馬区の文化財』</p> <p>練馬区指定文化財45件及び練馬区所在の国・都指定文化財11件の概要をカラー写真とともに紹介しています。</p>	500円
	<p>『懐かしの風景 - 北原コレクションの世界』</p> <p>ブリキのおもちゃ博物館長・北原照久氏のコレクションの中から、誰もが一度は目にしたことがある懐かしい品々を、大正から昭和の練馬の写真とあわせて紹介しています。（平成25年度特別展図録）</p>	700円
	<p>『ねりまの昔ばなし』</p> <p>ねりまの昔ばなし28話を紹介しています。</p>	410円

# 文京区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『文の京総合戦略 令和2年度～5年度』</p> <p>区が解決すべき主要課題を明らかにした「重点化計画」で、財政的な裏付けを伴う区の最上位計画です。基本構想や各施策の基本となる考え方、主要課題の解決に向けた事業展開等を一体的に示しています。</p>	1460円
	<p>『ぶんきょうの坂道』</p> <p>文京区は坂のまちです。本書では名前のついた115の坂道について、所在地だけでなく、由来やエピソードも掲載しています。地図も付いているので、ぜひ本書を携えて、区内の坂道めぐりを楽しんでください。</p>	620円
	<p>『令和元年度特別展図録 ぶんきょう写真帖 一時を感じるー』</p> <p>文京区の地域博物館、文京ふるさと歴史館は、地域のくらしや歴史・文化に関わる資料を多く所蔵しています。そのなかには地域を写したなつかしい写真や貴重な古写真、珍しい写真などがたくさんあります。令和元年度特別展で展示した写真資料を掲載した図録です</p>	490円
	<p>『令和元(2019)年特別展 荷風生誕140年・没後60年記念 永井荷風と鷗外』</p> <p>永井荷風生誕160年没後60年を記念して開催された特別展覧会図録です。生涯森鷗外を敬愛した荷風と鷗外の交流を紹介。二人の出会いから鷗外没後の荷風までを、関係者が所蔵する貴重な資料のカラー図版や関連資料で紹介しています。</p>	880円

	<p>『平成31（2019）年特別展 一葉、晶子、らいてう—鷗外と女性文学者たち』</p> <p>森鷗外が高く評価した、樋口一葉、与謝野晶子、平塚らいてうと鷗外の交流や三人の文業を多彩な資料で紹介した特別展展覧会図録です。近代女性文学史をわかりやすく解説しており、関連年譜やコラムもお楽しみいただけます。</p>	<p>860円</p>
	<p>『写真で綴る「文の京」 歴史と文化のまち』</p> <p>いまの文京区をつくりあげてきた歴史的・文化的背景などを丁寧に解説するとともに、現在のまちの暮らしなども紹介しています。写真・図版約680点を収載し、「見て」楽しみ、「読んで」もっと深く《知る》ことのできるオールカラーの写真集です。</p>	<p>1,700円</p>

# 目黒区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『目黒区 みんな大好き学校給食』</p> <p>学校給食の人気レシピ58選を一冊にぎゅっとまとめました！学校給食の味を家庭で再現できるように、紹介しています。レシピだけではなく、魚の食べ方や給食の様子など、見て楽しい、読んでためになる一冊です。</p>	200円
	<p>『みどりの散歩道コースガイド』</p> <p>みどりの散歩道は、季節の花や木などの自然を楽しみながら、目黒区の歴史・風土を知りながら散策できます。身近な公園や神社、お寺などを結んだ9コースをそれぞれ地図や写真などで紹介しています。</p>	300円
	<p>『ささえあう生命(いのち)の輪 めぐるのいきもの80選』</p> <p>平成24年3月から区報などで募集した「みんなで選ぶ めぐるのいきもの80選」をまとめた冊子です。「80選で選ばれたいきもの」と「区内で見られるいきもの」合わせて約300種を写真つきで紹介しています。</p>	400円
	<p>『目黒区文化財マップ』</p> <p>A1版の目黒区全体の地図に、指定文化財や庚申塔などの石造物、名前の付いている坂などの所在地を表示した文化財地図です。一部解説付き。A4版に折りたたんであり、散策時などの携帯にも便利です。両面カラー印刷。</p>	100円

	<p>『写真集 目黒の風景100年』</p> <p>「20世紀の目黒の風景」を、空中写真や地形図、鉄道や道路、ランドマーク、ハレの日、子どもの風景など、6つのテーマで紹介した写真集です。大きく変わる目黒の風景の移り変わりを知ることができます。</p>	<p>1,000円</p>
	<p>『目黒区基本構想』</p> <p>まちづくりの基本的な理念や将来像と、それに向けての長期的な目標や政策の方向を示した、目黒区の最上位計画です。</p>	<p>100円</p>
	<p>『目黒区基本計画』</p> <p>子育てや教育、福祉、まちづくり等、目黒区の政策に係るすべての分野を含む中長期の総合計画です。基本構想に掲げるまちの将来像「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる」を実現することを目的としています。</p>	<p>500円</p>